

# カルビーグループ決算説明会

2016年4月1日～2016年6月30日



掘りだそう、自然の力。

**Calbee**

カルビー株式会社

2016.8.3

# 2017年3月期第1四半期決算報告 及び通期計画達成に向けて

---

上級常務執行役員 財務経理本部長  
菊地 耕一

## KPIs (重要業績評価指標)

	通期目標	第1四半期実績	進捗
増収率	+6.4%	+3.2%	
営業利益増益率	+10.2%	+16.9%	
営業利益率	11.8%	11.5%	
海外売上比率	13.5%	11.8%	
売上総利益率	43.9%	43.9%	
販売管理費比率	32.1%	32.4%	

## サマリー

- 売上高、営業利益ともに第1四半期として過去最高を更新
- 売上高は円高影響及びポテトチップスの生産調整により計画未達

# 2017年3月期第1四半期 決算ハイライト

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	伸び率	計画比
売上高	百万円 (構成比) 59,831	百万円 (構成比) 61,756	% + 3.2	% 97.9
売上総利益	25,106 (42.0%)	27,109 (43.9%)	+ 8.0	101.4
販売管理費	19,008 (31.8%)	19,979 (32.4%)	+ 5.1	100.4
販売費	8,228	8,848	+ 7.5	105.1
物流費	3,934	4,077	+ 3.7	99.0
人件費	4,393	4,391	△ 0.0	97.1
その他	2,451	2,661	+ 8.6	94.0
営業利益	6,098 (10.2%)	7,130 (11.5%)	+ 16.9	104.2
経常利益	6,061	6,339	+ 4.6	97.2
特別損益	△40	△116	—	—
四半期純利益	3,482	3,832	+ 10.0	99.0

## 売上高、営業利益ともに 第1四半期として過去最高を更新

### 売上高

ポテト系スナック、海外事業が減収も、フルグラが大きく伸長し増収

### 売上総利益

北米、韓国で稼働率が低下したものの、円高による原材料費の減少、原油安による動力費及び原材料費の減少や赤字であった中国、台湾の合併事業解消、国内での固定費減少等により、売上総利益率は改善

### 販売管理費

国内の販売費増加

### 営業外損益

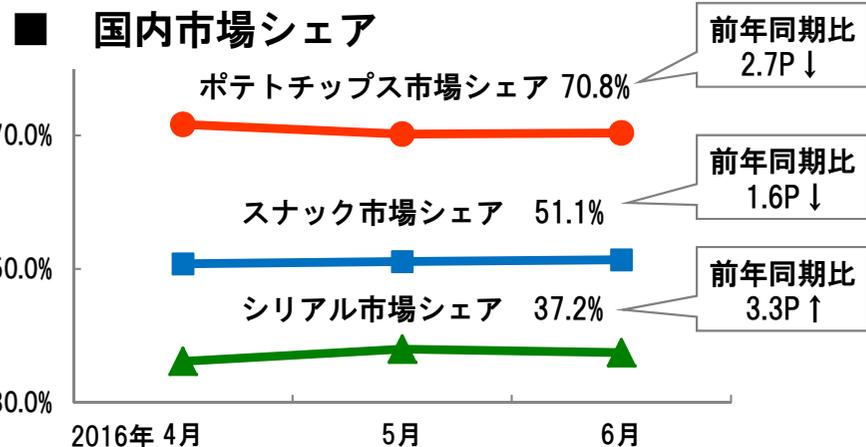
為替差損 800百万円  
開業費（インドネシア） 56百万円

\* 四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります

- フルグラが売上成長を牽引
- 増収効果と原油安、円高影響等により大幅増益

## ■ 増収要因 製品別 (百万円)

国内売上高	+	2,488
ポテト系スナック	△	466
ポテトチップス	△	897
じゃがりこ	+	151
シリアル食品	+	3,028
小麦系スナック	+	138
コーン系、豆系スナック	+	120
その他	△	332



出所：株式会社SR調査 全国全業態 金額ベース  
 期間計：2016年4月～2016年6月 前期：2015年4月～2015年6月  
 スナック市場シェアはカルビーとジャパンフリトレーの合計  
 ポテトチップス市場：ポテトチップス(生薄切り・生厚切り)・ポテトシュースト・ケトル合算  
 非公開PB含む

## ■ 売上高

### ポテト系スナック

#### ポテトチップス

- ・ 馬鈴しょ供給不足の懸念から生産調整を実施

#### じゃがりこ

- ・ 定番品が堅調

### シリアル食品

- ・ 2016年4月 『フルグラ』の新工場が稼働開始、生産能力は350億円に拡大

## ■ 営業利益

- フルグラ等の積極的なプロモーションによる販売費の増加があったものの、増収効果や、原油安、円高の影響及び固定費（減価償却費、人件費等）の減少やベーカリー事業の稼働改善による売上総利益率の改善により増益

- ジャパンフリトレーは、効率的な経費の運用とPB新製品により増益

- 現地通貨ベースでは5.5%の増収も、円高の進行により円貨では減収
- 北米、韓国の稼働率低下により減益

		2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	増減
売上高	百万円	7,866	7,303	△563
北米	百万円	3,364	3,162	△202
	千ドル	27,733	28,998	+1,264
韓国	百万円	1,832	1,448	△383
	百万ウォン	16,601	15,365	△1,236
その他	百万円	2,668	2,691	+22
営業利益	百万円	1,171	610	△561
北米	百万円	959	607	△352
韓国	百万円	251	46	△204
その他	百万円	△39	△44	△5

## ■ 円高影響額

売上高 △1,005百万円 営業利益 △66百万円

## ■ 北米

- プロモーション実施やHarvest Snaps新製品の発売により、現地通貨ベースでは増収
- 1工場体制の高い稼働であった前年同期からは減益だが、工場稼働率は改善傾向にあり、2016年3月期第4四半期からは増益

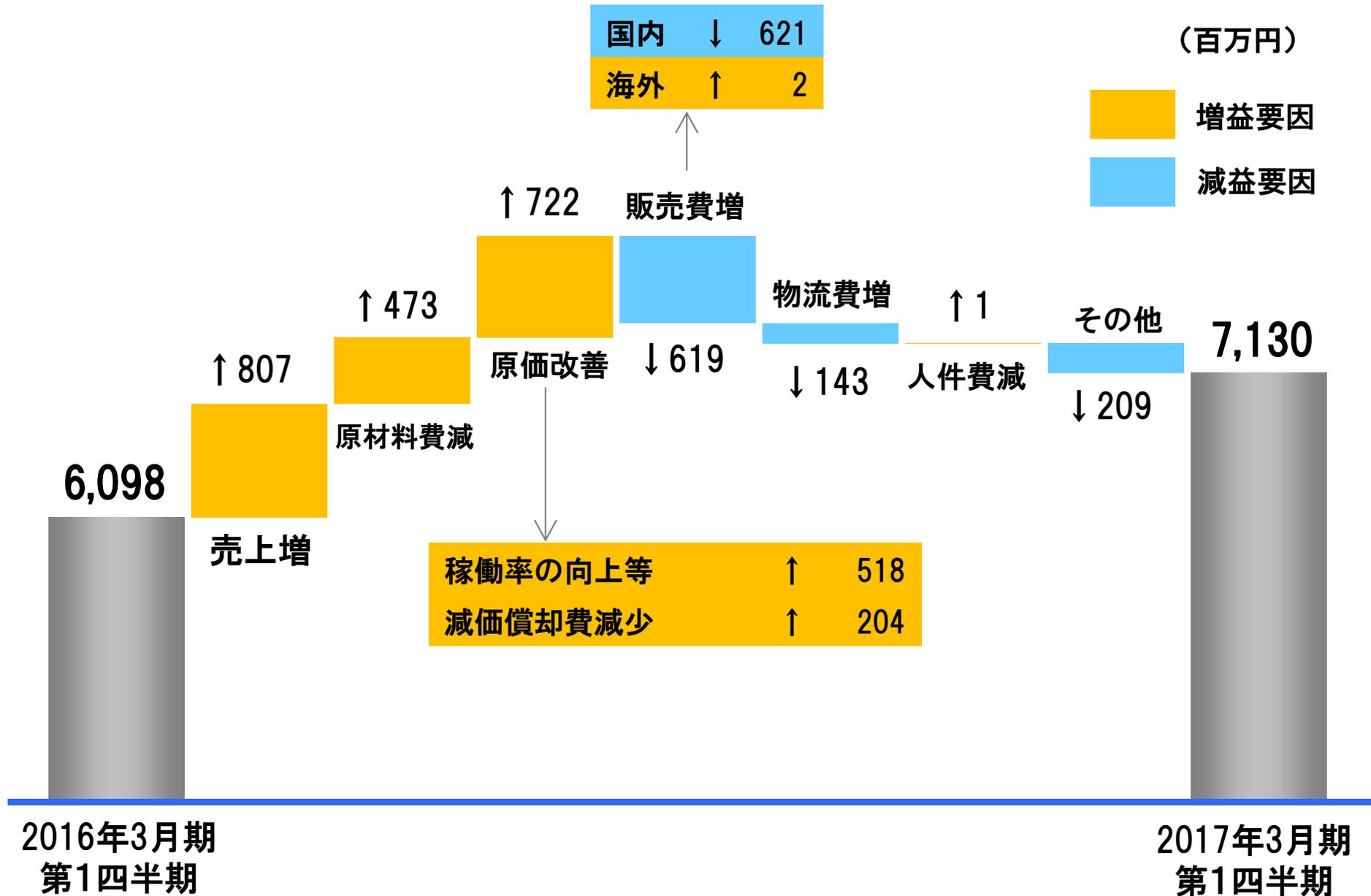
## ■ 韓国

- 2016年5月文幕第二工場稼働開始
- ポテトチップスのHoney Butter Chipの好調は継続も、Jagabeeは売上低下
- 稼働率低下や輸入馬鈴しょの品質問題により減益

## ■ その他

- 2016年4月より、スペインで「Snapea Crisps」を販売開始
- UKは積極的なプロモーション展開により増収
- 2015年以降事業を開始したフィリピン、UK、スペインで合計272百万円の赤字
- 前年同期赤字であったカルビー杭州と台北カルビーは当四半期までに合弁事業を解消

# 2017年3月期第1四半期 営業利益の増減分析

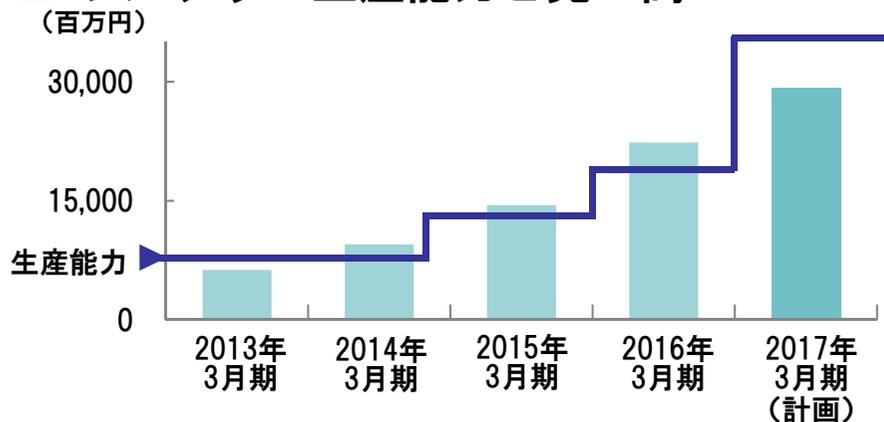


## フルグラ

- 健康的な朝食であることに焦点をあてた販促活動を実施し、認知度の向上、さらなる市場拡大を狙う
- 発売25周年キャンペーンによる積極的な店頭活動を実施
- 製品ラインアップ拡充



### ■ フルグラ 生産能力と売上高



## 成型ポテトチップス

- 2016年8月1日より「ポテトチップスクリップ」を北海道で発売開始
- 8月下旬に東北、信越で、10月上旬に関東で発売開始予定
- 当期売上高20億円以上を目指す



## ポテト系スナック

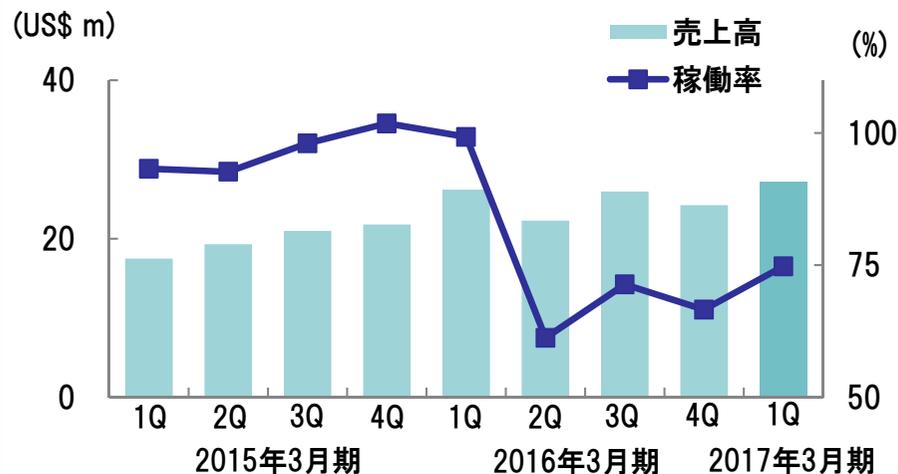
- 2016年9月より大収穫祭キャンペーンを実施
- 2016年9月にJA士幌協力工場からカルビーへのじゃがりこ供給を開始予定、販売チャネル限定製品のチャネル拡大

## 北米

### ■ さらなる稼働の向上と安定化を目指す

- 積極的なプロモーション展開を実施
- 発売を開始したHarvest Snaps新製品 (Black Bean)の配荷拡大
- 新規取引先獲得にも注力

### ■ Harvest Snaps 売上高と稼働率



## 韓国

### ■ 売上拡大により稼働率向上、利益率改善を図る

- 2016年8月～12月にかけて、ポテトチップス新製品3～4品を発売予定
- Jagabeeは規格改定を実施、売上拡大を図る
- 第2四半期より、ポテトチップス原料が輸入馬鈴しょから韓国産馬鈴しょに切り替わるため、原材料費低減を見込む

## スペイン

### ■ スペイン小売大手Carrefour、Eroski、El Corte Ingresにて「Snapea Crisps」の売上拡大を図る



# 参考資料

# 製品別売上高

百万円

	2016年3月期 第1四半期			2017年3月期 第1四半期		
	金額	構成比	伸び率	金額	構成比	伸び率
ポテト系スナック	29,874	49.9%	+9.2%	29,407	47.6%	△ 1.6%
ポテトチップス	18,379	30.7%	+13.7%	17,482	28.3%	△ 4.9%
じゃがりこ	8,417	14.1%	+3.0%	8,569	13.9%	+1.8%
Jagabee	2,193	3.7%	△ 0.9%	2,185	3.5%	△ 0.3%
小麦系スナック	5,421	9.1%	△ 0.8%	5,560	9.0%	+2.6%
コーン系、豆系スナック*	4,582	7.7%	+1.8%	4,703	7.6%	+2.6%
その他新規スナック等**	1,457	2.4%	+1.0%	1,146	1.9%	△ 21.3%
国内スナック計	41,335	69.1%	+6.6%	40,817	66.1%	△ 1.3%
海外	7,866	13.1%	+70.3%	7,303	11.8%	△ 7.2%
スナック計	49,202	82.2%	+13.4%	48,120	77.9%	△ 2.2%
シリアル	5,647	9.4%	+33.9%	8,676	14.0%	+53.6%
ベーカリー	3,492	5.8%	+14.0%	3,676	6.0%	+5.3%
その他	580	1.0%	△ 15.9%	425	0.7%	△ 26.7%
その他食品計	9,719	16.2%	+21.9%	12,777	20.7%	+31.5%
役務提供	909	1.5%	△ 0.8%	858	1.4%	△ 5.6%
<b>売上高合計</b>	<b>59,831</b>	<b>100.0%</b>	<b>+14.5%</b>	<b>61,756</b>	<b>100.0%</b>	<b>+3.2%</b>

\* 「コーン系スナック」の名称を「コーン系、豆系スナック」としました

\*\* 「ベジップス等新規スナック」と「国内 その他」をあわせて「その他新規スナック等」として表記しています

# 国別売上高

国名	円	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	伸び率
	現地通貨			
北米	百万円	3,364	3,162	△6.0%
	千ドル	27,733	28,998	+4.6%
中国	百万円	491	391	△20.4%
	千元	25,147	23,532	△6.4%
韓国	百万円	1,832	1,448	△20.9%
	百万ウォン	16,601	15,365	△7.4%
タイ	百万円	714	633	△11.4%
	千バーツ	195,862	205,588	+5.0%
香港	百万円	769	958	+24.6%
	千HKドル	49,151	68,203	+38.8%
台湾	百万円	114	4	△96.3%
	千NTドル	29,020	1,248	△95.7%
フィリピン	百万円	219	122	△44.4%
	千ペソ	80,474	52,228	△35.1%
UK	百万円	0	232	—
	千UKポンド	0	1,492	—
シンガポール	百万円	358	337	△5.8%
	千SGドル	3,979	4,197	+5.5%
スペイン	百万円	—	12	—
	千EUR	—	99	—

## 2016年8月3日開催 2017年3月期第1四半期決算説明会での主な質疑応答

### Q1 減収となったポテトチップスの今期の見通しを教えてください。

第1四半期に使用した馬鈴しょ品質が悪かったため原料供給不足の懸念が起き、一部ポテトチップス製品の終売を早めたり、季節商品の発売開始を延期した結果、減収となりました。国産馬鈴しょの収穫が本格化する第2四半期以降は、期初にたてた商品発売計画を確実に実施していきます。

### Q2 ジャパンフリトレーの営業利益改善の進捗状況を聞かせてほしい。

第1四半期は、販売費のコントロールなどを行い、大幅増益となりました。しかし、固定費については一時的な要因による減少もあったため、第2四半期以降同レベルを継続するのは難しいと考えています。今後は利益拡大に焦点をあてたオペレーションを実施します。

### Q3 北米の第2四半期以降の売上見通しについて教えてください。また、Costco における売上状況はどうか。

北米については徐々に売上を回復し、現地通貨ベースでは5%の増収となりました。主要な取引先であるCostcoでの売上状況は、前年同期に比べて8割程度まで回復しています。今後は新製品の投入も計画しており、さらなる売上拡大を目指しています。

### Q4 韓国の稼働率、利益や新製品の状況を教えてください。

当初の計画では、5月の新工場稼働開始以降、新しいポテトチップスのフレーバー製品を複数発売する予定でしたが、発売開始が遅れました。8月以降4-5品の新フレーバーを順次発売する予定です。第2四半期以降は稼働率、利益ともに改善するとみています。

### Q5 原材料費の減少、原価改善における円高の影響額と、第2四半期以降の見通しについて教えてください。また、フルグラの売上が増える中で、原価率の見通しはどうか。

円高による原材料費の減少は約2.5億円、原材料以外の原価の減少は約1億円(動力費)です。現在の為替水準が続けば、年度の後半にかけて原材料費の減少は続くと思えます。

一方で、フルグラについては、配合や加工プロセスの見直し等のコストリダクションも進め、原価率は改善しています。フルグラの売上増加による製品ミックスの変化は、原価率に影響はありません。

### Q6 原価改善(稼働率の向上等、減価償却費の減少)の詳細を教えてください。

稼働率の向上等のうち、プラスの影響の最も大きいものとして、円高と原油安の影響を受けた動力費の減少が約4億円です。一方で、マイナスの影響として北米や韓国での稼働の悪化が、それぞれ約2億円、約1億円含まれています。

減価償却費については、通期計画では前期比で増加する見込みですが、まだ償却が始まっていない設備等があるため、第1四半期においては約2億円の減少となっています。

### Q7 販売費が計画を上回っているが、具体的な内容と今後の見通しを教えてください。

第1四半期は、フルグラとじゃがりこのプロモーションを積極的に実施しました。販売費は売上のモメンタムに直結するため、現場と議論しながら年間でコントロールしていきます。

以上